

報道関係資料

2009年7月1日

東北地域の隠れた魅力を紹介
**小田急グループの「日本の素敵、再発見」プロジェクト第二弾
 「小田急がセレクトした日本の食と文化～東北篇～」を
 新宿店で開催します。**

株式会社小田急百貨店（本社：東京都新宿区、社長：小川三木夫）では、経済産業省・中小企業庁および独立行政法人中小企業基盤整備機構が推進する地域活性化施策と連携し、地域資源パートナー制度に登録している小田急グループで昨年から実施している「日本の素敵、再発見プロジェクト」企画の第二弾として、2009年7月8日（水）～13日（月）に「小田急がセレクトした日本の食と文化～東北篇～」を開催します。

この催事では、お米や大豆の産地として、また豊かな発酵文化を持つ地として知られる東北エリアにスポットをあて、日本酒や豆腐などお米や大豆を使った加工品をはじめ、発酵食品、海産加工品を提供するほか、漆器、まげわっぱなど、東北地域名産品のテーブルウェア類も取り揃えます。

さらに、会場では、食材とテーブルウェアを結ぶソフトとして、小田急グループのホテルシェフによる家庭料理用のオリジナルレシピを提案することで、小田急グループならではのノウハウをおり込みながら、東北地域の「食と文化」の魅力を伝えてまいります。

当社では、この催事を通じて、販路開拓の面から地域産業の活性化に貢献すると同時に、小田急グループとしてお客さまに東北地域の「こだわりのある」「質の高い」隠れた逸品を紹介することで、優れた地域産業の再発見に努めてまいります。

なお、今回の催事は、農商工連携や地域産品などに係る中小企業の商品品質向上や販路開拓・拡大を目指して経済産業省、中小企業庁が推進する「出会う、ふれあう、地域の魅力キャンペーン」とも連携しています。

「小田急がセレクトした日本の食と文化～東北篇～」に関する内容は下記のとおりです。



▲鯖寿司はちのへ巻（青森県）



▲オリジナルレシピ（お弁当）のイメージ

記

1. 名 称 「小田急がセレクトした日本の食と文化～東北篇～」
2. 期 間 2009年7月8日(水)～13日(月)
3. 場 所 第一会場：新宿店本館 11階催物場(食品関連)
第二会場：新宿店本館 2階サトリアール特設会場(非食品関連)
4. 出展企業数 全35社(食品31社、非食品4社)
5. 商品の一例
 - 鯖寿司はちのへ巻き(青森県) 1,500円 ○ 手延べ白石温麺(宮城県) 462円
 - くるみ小女子佃煮(宮城県) 300円 ○ 山ぶどうワイン(岩手県) 3,150円
 - お米と大豆のホットケーキミックス(山形県) 315円
 - ブナコ漆器(青森県) 4,200円～ ○ まげわっぱ(秋田県) 6,300円～
- ※ 展開する商品は、中小企業地域資源活用促進法ならびに、農商工等連携促進法、中小企業新事業活動促進法に基づく認定事業者の商品のほか、対象エリアから小田急グループ各社が厳選した商品を含みます。
6. 小田急グループのホテルシェフによる「オリジナルレシピ」について
小田急グループが有する観光資源である箱根のホテルシェフが、東北の食材や器から発想したオリジナルレシピをお客さまに提供します。
 - オリジナルレシピ一覧
 - (1) 「小田急 山のホテル」中村シェフによる、東北の海の幸と山の幸を使用した「和食」
 - (2) 「小田急ハイランドホテル」山上シェフによる、川俣のシャモを使用した「洋食」
 - (3) 「ホテルはつはな」竹岡シェフによる、東北の海の幸と山の幸を使用した「お弁当」

以上

<ご参考>

小田急グループの「日本の素敵、再発見」プロジェクトは、中小企業地域資源活用プログラムをはじめ、農商工連携事業、新連携事業などと連携して、小田急グループが事業ビジョンに掲げた「上質と感動」をもたらす商品・サービスの提供を実現するとともに、各地域の中小企業を販路開拓の面から支援することで、地域の活性化に貢献することを目的として、2008年7月に第一弾企画として「日本の世界遺産をめぐる～日本の素敵なお酒フェア」を開催しています。

また、当社では、これまで国内ブランドの活性化を支援しつつ、同時に差異化商品を開発する独自の取り組みを2004年から進めていました。このアプローチが国策である地域資源振興策の目的と重なり、2007年11月に中小企業庁が推進する「中小企業地域資源活用プログラム」に参画し、現在当社を含めた小田急グループ9社が「地域資源パートナー制度」に登録しています。

このニュースリリースに関するお問合せは、
(株)小田急百貨店営業政策・広報部 [野田・丹野・吉永] まで、お願いいたします。
TEL : 03-5325-2327、FAX : 03-5325-3670